

会員医療機関アンケート(ダイジェスト版)

Ⅱ. マイナ保険証、オンライン資格確認システムに関する調査

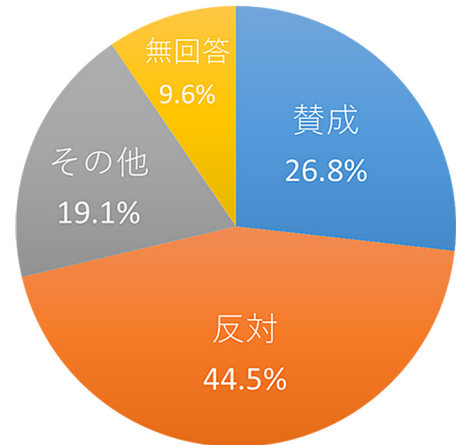
マイナ保険証の導入

マイナ保険証の導入に「**反対 44.5%**」

「**賛成 26.8%**」、「**その他 19.1%**」と分かれたが・・・

「その他」の回答をした方の意見には、

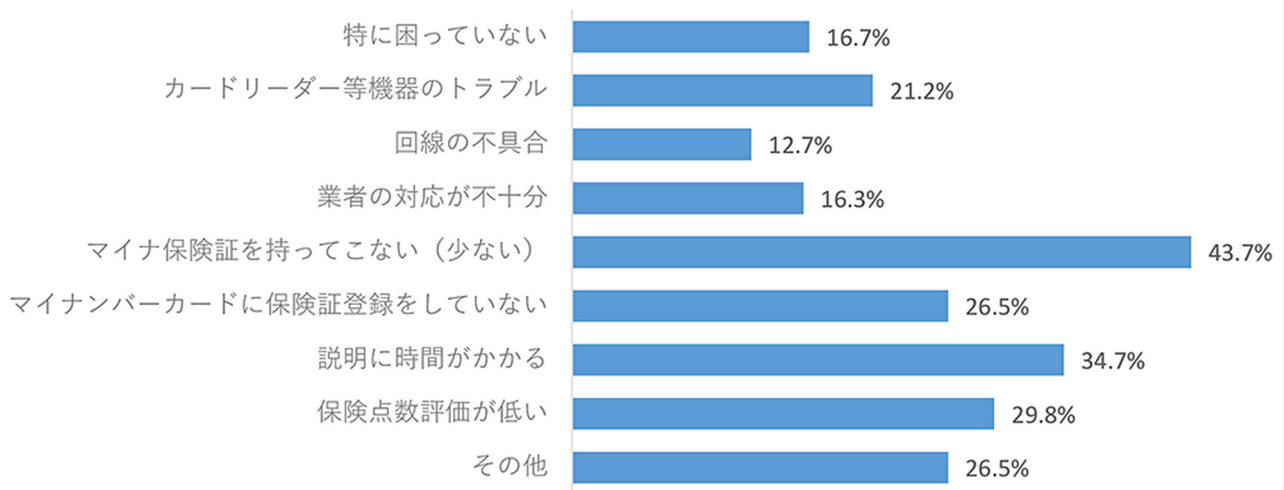
「高齢者の対応が現実的にみえないため」、「(従来からの紙の健康保険証とマイナ保険証の)併存が望ましい」、「個人情報の安全について不安はある」



「オンライン資格確認システム」を導入済み医療機関

約8割が「**困難事例**」を経験

オン資運用で困りごと (複数回答可)



「その他」の回答をした方の意見には、

- カードリーダー等機器のトラブル、回線の不具合、業者の対応が不十分、毎月カードリーダーの会社にお金を払うこと。
- マイナ保険証と実際の保険証が合致していないことがある。
- 暗証番号を覚えていない高齢者が多い。マイナンバーカードの意味を知らない方もいる。
- 使用するメリットが全くない。
- 患者さん自身高齢者多く、カード所有していない。特、障の紐付けがないので二度手間になる。
- NTTの設置を頼んだが、NTTが持ってきたPCがすぐ壊れて、何度もNTTに問い合わせをしたり原因不明で大変。週間前に電源が入らなくなり、マイナンバーカードは全く使用できなかった。設備の不備だが、今までマイナンバーカードを持ってきた人も当方の理由で保険証扱いになり加算点数が発生することになり、本当に今も困っている。不満しかないです。
- ログインしたまま30分放置するとタイムアウトになってしまう。(再ログインが必要)
- 小児科なので、子供医療券の確認は別途必要である。

「オンライン資格確認システム」を未導入の医療機関

「現状維持」と「閉院・廃業」が**2割超**

「義務化」の流れに乗れず、閉院に追い込まれる医療機関も

設問 11. 猶予期間経過後の対応

現状維持(猶予期間再延長、義務化撤回を求めながら)	23	20.5%
オン資を導入、運用	77	68.8%
閉院・廃業を選択	3	2.7%
無回答	9	8.0%
合計	112	100.0%

Ⅲ. 「5類」移行後の対応に関する調査

各医療機関の標榜科、個別状況によって **「自院では難しい」23.9%**
 発熱患者と一般患者の導線の分離が困難、重症化リスクの高い医師・患者がいる

設問 12. どのように対応しますか(医科全体)

発熱外来を継続	106	40.2%
一般外来の中で対応	77	29.2%
自院では難しい	63	23.9%
無回答	18	6.8%
合計	264	100.0%

回答数: 病院、有床診、無床診(医科) 264 件

設問 12. どのように対応しますか(内科・小児科)

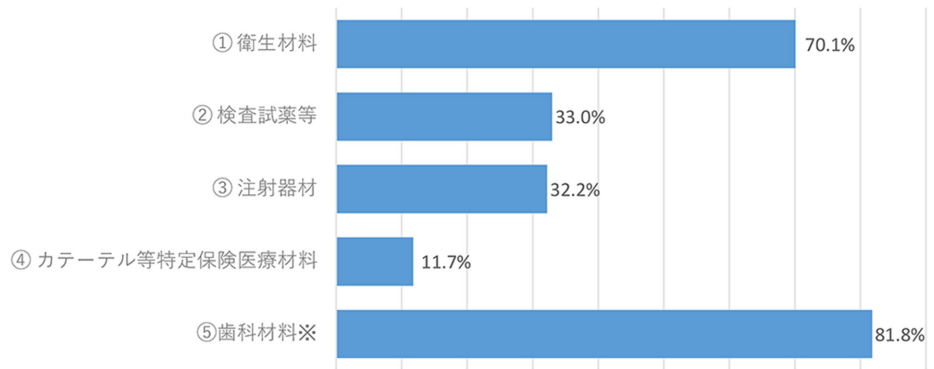
発熱外来を継続	75	52.4%
一般外来の中で対応	46	32.2%
自院では難しい	16	11.2%
無回答	6	4.2%
合計	143	100.0%

回答数: 内科と小児科 143 件

Ⅰ. 電気料金等物価高騰に関する調査

**全体の7割が
 「衛生材料」高騰した。
 歯科の8割が
 「歯科材料」高騰した。**

高騰した品目 (複数回答)

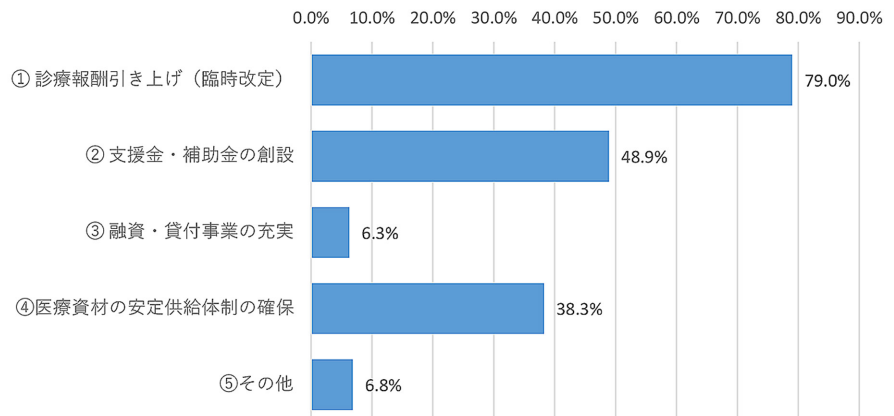


医療機関への経済的対策に

**「診療報酬の引き上げ
 (臨時改定)」**

望む声多数

行政に望む施策 (複数回答可)



Ⅳ. 日常診療への影響調査(2023年1月～3月診療分)